

ライフイノベーション戦略協議会 意見書（再掲、抜粋）

平成 24 年 6 月 8 日

庄田 隆

1. 社会変革やシステム改革等、全般的な課題

- 「システム改革」は幅のある概念であり、人により“システム”の捉え方が異なり、意見がかみ合わなくなることが懸念される。「システム改革」に関する戦略協議会での議論が拡散しないようにするためには、「第 4 期科学技術基本計画」の第 4 章の 4 . (3) および 5 . (1) ~ 、(2) ~ に記載されている項目に沿って議論を進めるべきと考える。
- 本ライフイノベーション戦略協議会と平行して、「医療イノベーション会議」において「医療イノベーション 5 か年戦略」の検討が進んでいる。ライフイノベーション分野の中でも、例えば、“医療サービスの提供のあり方”“審査体制の強化”“国際共同治験の推進”などについては、本戦略協議会のテーマとはせず、“イノベーション推進を阻害する規制等の見直し”“産官学の連携の一層の推進”などのテーマに重きを置くべきである。但し、「医療イノベーション 5 か年戦略」と重複するテーマについては、しっかりと整合をとって本戦略協議会においても議論すべきである。特に、“創薬支援ネットワーク”については、ノウハウを蓄積している民間の既存基盤を活用する余地が大いにあると考える。

以上